

南房総の民話と伝承の里

なづがっばら 「名戸川原」 おさんぽマップ

南 房総市は、奈良時代から千年以上も「安房国」と呼ばれてきた歴史ある地域で、市には約100もの民話が残されています。
なかでもここ平館地区の「名戸川原」は小さな里山にもかかわらず、多くの伝説・巨石が集まっています。(当館から徒歩数分です)
苔むす神社、伝説が残る奇岩に信仰を集める像…。心に染み入る出会いがあるはずです。
日本の原風景を味わい、伝承が息づく里山を、のんびりおさんぽしませんか。

つぶて石・神楽石
名戸川原の滝・平館層

どちらも高さ5~6mの巨岩で、その大きさにビックリ! 平館古道を約10分登ると、幻の滝「名戸川原の滝」、農業用水の堰や560万年~375万年前の巨大な「平館層」が見られます。

平館天神社・馬の背

地域の鎮守。巨岩に守られている神社です。地域ではお宮参り、七五三はここに参拝します。2019年の大型台風でご神木が倒れた際、不思議にも近くの本殿と鳥居は無傷! この「奇跡」に皆喝采でした。「馬の背」は、その形から大きな馬をご想像ください。

永崎堂

山岳信仰の祖、役行者像があります。通例は厳しいお顔ですが、珍しい笑顔像。境内には名水「福水」が湧き、多くの方が汲みに訪れます。

徳蔵院

境内に神社もある「神仏習合」のお寺で、大聖不動明王を祀っています。神社のお社には神輿が安置されています。

能蔵院

「東国花の寺 百ヶ寺」で、本堂の花の天井画は圧巻! 患部と同じ箇所をなでてご利益を願う「おひんぎるさま」や、境内の「こりやく坂」を登り、みほとけのパワーを頂いては。

稲荷山・稲荷神社

「雨乞塚」こと稲荷山・中腹の稲荷神社は、五穀豊穡の神様。隣の二十三夜尊のお社は、なんと岩屋です。裏手の道からロープ沿いに数分登れば、絶景の眺望が!

つぶて石

無数の孔が海中の石たた証拠!

平館層

巨大な石壁!

馬の背

※馬のうしろ姿になります



稲荷神社

あわのくにへだてなづがっばら

稲荷神社

あわのくにへだてなづがっばら

平館古道
名戸川原の滝
平館層

平館天神社

大人の背丈ほどある大きなお地蔵様と、分岐道に座する愛らしいお地蔵様。地域の方が日々花や灯を供え、道行く人を見守ります。

永崎堂

背後の海から朝日に輝く本殿は、まさに主祭神・天照皇大神にふさわしい。毎年7月の千倉の祭り(ちくらんまつち)では、歴史ある同神社の山車が見ものです。

徳蔵院

境内に神社もある「神仏習合」のお寺で、大聖不動明王を祀っています。神社のお社には神輿が安置されています。

稲荷神社

あわのくにへだてなづがっばら

稲荷神社

あわのくにへだてなづがっばら

平館層

巨大な石壁!

馬の背

※馬のうしろ姿になります

永崎堂

背後の海から朝日に輝く本殿は、まさに主祭神・天照皇大神にふさわしい。毎年7月の千倉の祭り(ちくらんまつち)では、歴史ある同神社の山車が見ものです。

徳蔵院

境内に神社もある「神仏習合」のお寺で、大聖不動明王を祀っています。神社のお社には神輿が安置されています。

千倉通港

朝のさんぽにGO! 運がよければ水揚げの様子と、色のおこぼれを待つトンビの乱舞が見られますよ。

千倉港指筒灯

この周辺で釣りを楽しむ人多し。

平館天神社

大人の背丈ほどある大きなお地蔵様と、分岐道に座する愛らしいお地蔵様。地域の方が日々花や灯を供え、道行く人を見守ります。

永崎堂

背後の海から朝日に輝く本殿は、まさに主祭神・天照皇大神にふさわしい。毎年7月の千倉の祭り(ちくらんまつち)では、歴史ある同神社の山車が見ものです。

徳蔵院

境内に神社もある「神仏習合」のお寺で、大聖不動明王を祀っています。神社のお社には神輿が安置されています。

千倉通港

朝のさんぽにGO! 運がよければ水揚げの様子と、色のおこぼれを待つトンビの乱舞が見られますよ。

千倉港指筒灯

この周辺で釣りを楽しむ人多し。

平館天神社

大人の背丈ほどある大きなお地蔵様と、分岐道に座する愛らしいお地蔵様。地域の方が日々花や灯を供え、道行く人を見守ります。

永崎堂

背後の海から朝日に輝く本殿は、まさに主祭神・天照皇大神にふさわしい。毎年7月の千倉の祭り(ちくらんまつち)では、歴史ある同神社の山車が見ものです。

徳蔵院

境内に神社もある「神仏習合」のお寺で、大聖不動明王を祀っています。神社のお社には神輿が安置されています。

平館には昔、各家に井戸がありました。今でも庭に名残が見られ、井戸神様を大切に祀っているお宅もあります。←直径約1m

★井戸の多くは私有地にあるので、立ち入れませんよう温かなご協力をお願いします

なづがっばら
読 むと、おさんぽが一層楽しくなる! 「名戸川原物語」
(紙芝居「名戸川原物語」より一部修正)

昔むかし、名戸川原は雷神が雷を落としては暴れ、人が住めない地域でした。牛頭天王という神さまが雷神を鎮めようとしたのですが、言うことを聞きません。そこで、出雲の国から八雲の神(スサノオノミコト)を招きました。ところが、強い力を持つ八雲の神よりも雷神はさらに強く、八雲の神は住まいを壊され洞窟に逃げ込むばかりでした。

困った牛頭天王は、次に高天原から神明神(アマテラスオオミカミ)を招き、お祭で雷神を鎮めようとしたのですが、これも効き目がありません。その後、能楽に堪能な人に獅子と大がまを連れて能楽を演じさせました。すると雷神は、2匹を石に変えてしまったのです。大がまは「神楽石」となり、能蔵院に向かい「助けて〜」と、今も大きな口を開けています。

雷神はますます暴れ、稲荷山を崩そうとしました。次いで牛頭天王は稲荷(ウカノミタマ)に山を守らせ、眷属のキツネたちに雷神をなだめさせましたが、これも手に負えません。

牛頭天王は天神(タカミムスビノミコト)にも助けを求めました。天神が住みかの祠を作ろうと馬に乗って来たところ、暴れん坊の雷神は馬の首を落としてしまったのです。

すると突然、馬の首が雷神の尾にガブリと食いつきました! どんなに引っ張っても離れないため、雷神もお手上げとなり、ついに天神に泣いて謝ったのです。

天神は雷神に「名戸川原で二度と暴れてはいけません」と約束させ、馬の首を離しました。平館天神社の境内には「馬の背」と呼ばれる巨岩が残されています。首がない神馬が岩となって、天神を守り続けています。

さて、雷神が暴れなくなったので、名戸川原は安心して人が住めるようになりました。村人たちは、雷神を鎮めるために尽力してくれた牛頭天王の徳を慕い「今後も守ってください」と、天王さまの周りに墓地やおこもり小屋を作りました。この時の小屋は、天王さまの「徳」をいただいて「徳蔵院」と名づけられました。また、能楽に堪能だった人の家は「能」の字をいただき「能蔵院」となりました。

雷神と神々との伝説が残る名戸川原は、今も地域で大切に守られているのです。

つぶて石のお話

名戸川原には約6m四方もある「つぶて石」がありますが、一体どこから来たのでしょうか? そこにはこんな話が残されているのです。

鎌倉時代、安房国・朝夷(あさひな)の朝比奈三郎義秀は、力持ちの男でした。その義秀が、朝夷山からポーンと名戸川原に投げ飛ばした巨岩が「つぶて石」なのだそう。

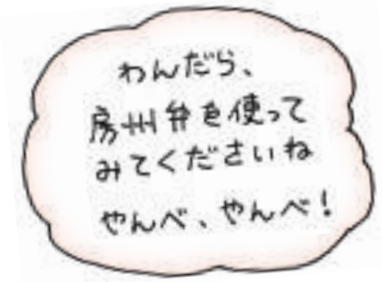
義秀は閻魔さまから地獄に落とされそうになった時も、怖気づくどころか、逆に閻魔さまを引き回して極楽へ連れて行ったほどの天下無双の大力。つぶて石など造作もありません。

義秀の父親は、鎌倉幕府の侍所別当・和田義盛。義秀の豪傑さは、数々の武功を立てた父親譲りかもしれませんね。



ぼうしゅうべん
房 州弁っておもしろい! こんな方言が使われています。

- やんでく (歩く)
- てっぱつ (大きい)
- ちゃっけい (小さい)
- おんもり (たくさん)
- わんだら (あなたたち)
- あんご、げーろ (カエル)
- いっちやめ (ママシ)
- やんべ (やろう)



早 起きおさんぽ、しませんか。

せつかくの旅だから、朝はお寝坊したい。…それはもったいないですよ。早起きしてのおさんぽを、皆さまにぜひおすすめします!
 当館からわずか徒歩数分で大海原!
 水平線から昇る朝日を全身に浴びれば、エネルギーもグングンわいてきます。タイミングが良ければ、近くの千倉漁港で魚の水揚げの様子も見られますよ。魚のおこぼれを探すトンビたちもやってきます。おさんぽを楽しみ、ほどよくお腹が空いてきたら、お帰りなさい! おいしい朝食をご用意してお待ちしています。



たかべ
当 館主人が奉納する高家神社「庖丁式」とは

千倉にある高家神社は、料理の神様「磐鹿六雁命(イワカムツカリノミコト)(尊称・高倍神)」を祀る、日本で唯一の神社です。毎年2月の梅見会、5/17の春季例大祭、10/17の秋季例大祭、11/23の新穀感謝祭では、珍しい「庖丁式」が奉納されます。手で触れず、式庖丁と真名箸で魚をさばいて神様に捧げます。実は当館主人で料理長でもある清宮柏壽(信英)も、この儀式の大役を仰せつかっている一人です。海・山の幸の食材に感謝するこの庖丁式は、

一般にも公開されています。高家神社は、多くのプロの料理人たちが参拝に訪れます。ご家庭で料理の腕をさらに上げたい方も、ぜひ参拝してはいかがでしょうか。

高家神社
 南房総市千倉町南朝夷164 (当館から1.7km)
 ☎ 0470-44-5625 <https://takabejinja.com>
※開催日時等の詳細につきましては、事前にお問い合わせください。



磐鹿六雁命(高倍神)
 イワカムツカリノミコト


日本で唯一の料理の神様です



まなびし真名箸
 式庖丁はすくすきに

神聖で高位の魚・鯉

YouTube 「南房総市平館区チャンネル」ぜひご覧ください。
 続々配信! 名戸川原や各見どころ、歳時記、方言など平館地区の情報が満載です!



【制作・発行】  銀鱗荘ことぶき 

〒295-0021 千葉県南房総市千倉町平館 684
 TEL: 0470-44-2527 FAX: 0470-44-2529
<https://g-kotobuki.net>